

# リスクマネジメントに関するQ&A

研修後に寄せられた質問に対し講師の三好利和先生に御回答いただきました。

## 【質問1】人工呼吸について

胸骨圧迫とともに人工呼吸を行う方法は現在も有効でしょうか。

## 【回答1】

救急法の見直しは世界的に5年おきに見直しをされています。2020年に見直しされましたが、心肺蘇生法について大きな変更はありません。人工呼吸は大人の場合は心臓に要因がある意識不明や呼吸停止が多いので、慣れない人工呼吸よりも胸骨圧迫だけのほうが効果的という表示もありますが、講習を受けてきちんとした咽喉呼吸ができる救助者の行為は有効です。

## 【質問2】引率者の割合について

参加者の人数に対する引率者の割合を教えてください。

## 【回答2】

プログラムや対象年齢により、人数は変わります。一般的に組織キャンプを行う場合は、8人ぐらいの子どもに大人1名、幼児の場合は6人の子どもに大人1名ぐらいでしょう。

## 【質問3】事故に備えた保険について

事故に備えた保険の種類、選び方、おすすめの保険会社等を教えてください。

## 【回答3】

おすすめの保険会社は私からはお伝え出来ません。各保険会社の保険内容をご確認ください。各自が利用されている保険会社、代理店によくご相談ください。重要なことは傷害保険だけではなく、賠償責任保険も加入されることです。傷害保険とは別の内容になり、保険料も別になりますが、不可欠な保険と考えることが重要です。どこの保険会社にもありますのでご確認ください。

## 【質問4】事故が起きた場合の連絡の対応について

事故が起きた際に救急車・保護者以外の連絡すべき機関や、通報時に押さえておくべき情報を教えてください。

## 【回答4】

海の場合にはその場所の管理者(行政や港、漁協など)と海上保安庁、山の場合は各県の山岳警備隊や救助隊、地域の消防団が考えられます。捜索を行った場合には担当警察署や消防団への挨拶は必要です。通報時には実施要項と参加者名簿が必要です。

## 【質問5】リスクマネジメントに関する事例の収集方法について

新たな事例を、どのようなサイトや文献から収集するとよいでしょうか。また、それらの対応策や防止策について、どのように学んでいくとよいでしょうか。

## 【回答5】

事故事例や事故情報はHPの検索サイトで十分ではないでしょうか。判例の場合は判例のサイトがあります。普段からニュースの内容で自然体験活動に関する情報をリストアップしておくといいですね。対応策や防止策はまず身近なメンバー間のワークがおすすめです。難しく考えず、いろいろな意見を出し合うとよいでしょう。壁にぶつかった場合は専門家にアドバイスを求めるのがよいでしょう。